

第2回護岸整備懇談会の開催結果概要(案)

開催概要	
日時	平成26年2月6日(木) 17時30分～19時45分
場所	千葉県国際総合水泳場 会議室
参加者数	31名
出席委員	8名(◎遠藤茂勝、工藤盛徳、榊山勉、及川七之助、澤田洋一、松本好司、歌代素克、米山芳昭) ◎: 座長
結果要旨	
◇報告事項	
○1) 第1回護岸整備懇談会の開催結果概要	
事務局から資料1により説明後、質疑応答。	
[主な意見及び対応]	
・特になし	
○2) 2丁目護岸(残された200m区間)の整備について	
事務局から資料2により説明後、質疑応答。	
[主な意見及び対応]	
<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりと整合を図るため、護岸工事を中断することだが、土地利用計画が決まるまで、捨石工事も行わないのか。 ⇒護岸バリエーションについても検討した上で構造が決まるので、捨石工事が手戻りになってはいけないため、着工を見送った。(事務局) ・護岸法線については、専門家会議でいろいろな意見が出て、考えが変わったのではないのか。 ⇒三番瀬については、幅広い意見をいただきながら検討を進めていく方針であり、専門家会議、三番瀬ミーティングでの幅広い意見を聞いた中で調整を図っていくこととしている。(事務局) 	
◇議題	
○1) 2丁目護岸着手(平成18年)から7年後の検証評価	
事務局から資料3により説明後、質疑応答。	
[主な意見及び対応]	
<ul style="list-style-type: none"> ・直立護岸から傾斜石積護岸に変わったことにより、反射波が小さくなり、青潮が停滞すると青潮の消滅に時間が長くなっているのでは。 ⇒青潮の滞留状況については、海域をよく見ている漁業者の方に聞き取りを行いたい。 ・地形変化について、曲線近似するとどのような傾向であったか。 ⇒2次曲線近似してみたところ、場所によって収まりつつある箇所と、低下傾向が続いているような箇所があった。(事務局) ・「水鳥の場の利用に影響を及ぼしていない」という表現については、少なからず水鳥の種の構成が変わっていると思われるため、「工事の影響が小さかった」とすべきではないか。 ⇒評価内容について再検討する。(事務局) 	
裏面に続く	

○2) 1丁目護岸工事着手（平成23年）から2年2か月後の検証評価

事務局から資料4により説明後、質疑応答。

[主な意見及び対応]

- ・底質に関する検証結果について、「台風26号の2日後」に採取したとのことだが、結果に台風の影響が出ているのではないか。今後の調査時期について検討してもらいたい。

以 上